

# THE TOUGHNESS

## トレイル

住所：埼玉県熊谷市中央 2-322-1  
TEL：048-501-1600  
FAX：048-501-1601  
URL：http://www.trail.co.jp/

For LAND CRUISER

"HOT" PARTS

02

TRAIL

WARN&SIMEX

## リアルオフローダーよ WARNとSIMEXを 知らずしてオフを語るな

ウインチとトラクションタイヤ。いずれもオフロードマニア垂涎の、タフなヘビーデューティ・アイテムだが、その両者を扱うサプライヤーが「トレイル」だ。もちろんランクル乗りもその動向に、要注目！

■文：高坂義信 ■写真：柳澤岳男

またトレイルは、最近ではランクル乗りの元氣な九州でのイベント「SIMEX CUP」のメインスポンサーも経験した。阿蘇山の火山灰でどうにもならない路面の多い土地。そこではSIMEXが一番人気。その理由は…もはや語るまでもないだろう。

彼自身、様々なオフロードイベントに出かけては、ウインチの有効性を伝える「伝道師」のような存在だが、それはランクルたちには、いまさら語るまでもないだろう。たとえばスタックしてしまっただけの車を引き抜いたり、あるいは他車をレスキューしたり。第5の駆動輪として道なき道や、崖を登ったりするのにも、ウインチならではのダイナミックな使用法。廣瀬さんは、そんなウインチを、おそらく日本でもっとも長い時間、使っている人だろう。

本格志向の重仕様装備を国内ユーザーに発信するウインチの世界最大メーカーであるアメリカWARN社の国内正規代理店、そしてマレーシアADM社の国内正規代理店でもある「トレイル」。WARNウインチや、SIMEXタイヤなど、オフローダーたちのマスト・アイテムと言えるこれらを、ニッポンに居ながらにして気安く購入できるのも、トレイルがあつてのことだ。

では、なぜ、トレイルはこれほどに、ヘビーデューティ・アイテムばかり扱っているのか？ それは同社代表である廣瀬功さんが、オフロード大好き人間であるからにはかならない。

どんなにサスペンションをチューンしていても、またどんなに屈強なトラクションタイヤを履いていても、オフローダーは「スタック」からフリーではお切れない。常にハマル恐怖動けなくなる恐怖と闘っているわけだ(そして、それがなんとも快感でもある)。そして、実際にスタックしてしまったら、さあどうするか？ たとえ仲間と一緒に楽しんでいる場合でも、カーロープで引き上げられる好都合な状況は、むしろ少ないのではないかと？

だから本格的なオフローディングには、ウインチが必要なのだ。ウインチ、そしてスナッチブロックやツリーストラップなどがあれば、クルマはたいいてい、どんな方向へも引き上げることができる。



まさにジャングルユースのアグレッシブなルックスを持つSIMEX、フラッグシップモデルがこの「エクストリームトレッカー」だ。独立したデザインのプロックは、過酷な泥濘もかき分ける力を発揮、またショルダーから突き出したように交互に伸びる両サイドのプロックは、深いマッドでも大きなリフトトラクションを得ることができる。モーグルや泥沼での舵の効きも秀逸。「走れない」と言い訳できない。

OFFROADS



**WARN 12.0 XE**

最大牽引力5440kgという、RV用ウインチとして最強スペックを誇る。その最大の特徴はモーターにクーリングシステム（手動、自動とも可）を備えていること。シリアスな場面で酷使されるウインチは、使う人間の方も頭の中がアツくなり、ウインチ自体がオーバーヒートすることもしばしば。結果、ウインチが破損して使いものにならない。しかし12.0XEなら、そんなトラブルも心配なし。ハードな連続使用も可能だ。12V仕様、9.5mmφ×24mワイヤー、重量は45kg、オープン価格



**WARN SPC  
コンプレッサー**

リアル・オフローダーなら、タイヤのエア圧を気にかけない人はいないだろう。もちろんオフロードステージに相対すれば、エア圧を落としては、基本中の基本の“ドライビングテクニック”だ。しかし問題はその後。ちかくにガソリンスタンドがあればいいが…。そこでオフローダーなら常備しておきたいのが、エアコンプレッサー。WARNも最近力を入れており、標準モデルの「SPC」でも最大圧力10.5kgf/cm<sup>2</sup>と、十分な実力。エアチェッカーとしても使用できる。オープン価格

ランドクルーザーとWARNウインチの相性は、ことさらに良好だ。頑丈なラダーフレームに支えられたランクルには、ウインチを備えるためのベッドを比較的可タンに備えることができるからだ（90～120系、100～200系は、バンパー加工も必要になるだろうが）。実際、以前のモデルは純正オプションとしてウインチを用意していたし。WARNの実用性はもとより、信頼性や扱いやすさを表現できる4WD。それはランクルがナンバーワンなのではないだろうか。

# WARN WINCH

ちょっとオフロードに親しんだランクル乗りなら、「WARN」の名を知らぬ人はいないだろう。世界最大の電動ウインチメーカーであり、オフロードを知り尽くしたスペシャリストでもある。

たとえばかの4WDブームの時代、一世を風靡したウインチといえば“M8274”。ラインの巻き取りスピードが圧倒的に速く、しかもラインがもつれにくい構造。何よりタテ型のフォルムがカッコよく、マニアの間では“パーニーナナヨン”と呼ばれ親しまれた。この伝説の名機は、現在でも購入可能だ。

そして今、WARNがもっとも力を入れているのが、クーリング機能付きウインチや、エアコンプレッサー付きのウインチ。オフロードで使用するうえでの弱点を克服し、また使い勝手を高めた、新世代のウインチたち。いかにWARNがユーザーの立場に立って物造りをしているかが想像できる。



# SIMEX TIRES

マレーシアの誇る、世界的タイヤブランドが「SIMEX」だ。トラクションタイヤは“エクストリームトレッカー”、“MPトレッカー”、そして“ジャングルトレッカー”の3種をトレイルが取り扱っており、超ハード系オフローダーから熱い支持を集めている。

そのポテンシャルは世界中のジャングルで酷使されながら磨き上げたもの。いったんスコールに見舞われると、たちまち腰まで埋まるような泥の中を走りきるトラクション能力。さらに突き出した木の根や尖った岩にも負けないだけのヘビーデューティな造りは、もしかすると日本ではオーバースペックかもしれない。

しかし、そんなタイヤを履いていればこそ、立ち足かかる泥や岩の壁に、強い気持ちで挑んでいくことができる。SIMEXを履いていると、勇気が湧いてくる。オフローダーの本能を目覚めさせてくれるのである。



**SIMEX-EXTREME TREKKER**

32x9.5-16 35x10.5-16 36x12.5-16

**SIMEX-JUNGLE TREKKER2**

33x11.5-16 34x10.5-16

キャラメル状に荒たく並んだブロックは、ロックでも有効。重量級のクルマなら、ブロック自体がたわみ、ロックにまわりつく動きをする。さらにタイヤ全体の剛性が高いので、エア圧を1.0kgf/cm<sup>2</sup>以下に落とすことも可能（チューブを装備すればそれ以下も可能）。エア圧を落とすとサイドに突き出したブロックも有効に働き、岩の上でもさらに強い邁進力を得ることができる。



エクストリームトレッカーのパターンロックは、典型的なトラクションタイヤのそれ。ショルダー部分に独立し、さらにサイドウォールの外にまで突き出したブロックが、泥や砂、岩などでの、いかにも強力なトラクションを物語る。また連続して配置されたセンターブロックは、ダートやオンロードでのハンドリングに、少なからず寄与している。が、オフに際してこのタイヤに履き替えるなど、あくまでオフ専用として使用するのがオススメ。